

活き活きと
魅力に満ちた
田園都市



板野町勢要覧 2015

概要版 Itano town



An aerial photograph of a town, likely in Japan, showing a dense residential area with many houses and buildings. A river flows through the town, and a multi-lane highway runs along the top right. The surrounding landscape is hilly and forested.

安心なまち

子どもが輝くまち

交流のまち

目次

CONTENTS

町長あいさつ	4	人・もの・情報が集う都市基盤づくり	19
みんなで支え合う		学びと文化が香るまちづくり	21
安心な暮らしの仕組みづくり	6	協働によるまちづくり	24
安全で美しい田園空間づくり	11	60年のあゆみ	26
連携強化による産業づくり	14	イラストマップ	28



新たなまちの創造に向けて



板野町は、昭和30（1955）年2月11日に、隣接する板西町、松坂村、栄村の1町2村が合併し、郡名を町名として誕生しました。

合併当初の人口は1万5千人、面積は36.18km²で、北に阿讃山脈、南に肥沃な吉野川平野を配した農業を基盤に歩み始めました。また、町内には四国八十八ヶ所霊場のうち3つの札所の悠久の流れと共に、毎年多数の巡礼者が訪れる姿は、町の風物詩となっています。

古来、交通要衝の地として、また文化・産業、人々の交流の拠点として、先人の英知と努力の積み重ねで時代と共に栄えて参りました。

今年で合併から60年が経過し、人に例えると還暦の大きな節目の年を迎えました。この間、我が国では人口減少時代に入り、本町においても少子高齢化は進展しており、今後単独の自治体として保健・医療・福祉・教育など各分野にわたって持続可能なまちづくりを進めていくには、少子化対策、若い世代の定住化促進は、従前にも増して重点施策となっています。

また、東日本大震災による大規模な地震災害は、これまでの私たちの防災意識を大きく変え、暮らしの安全・安心への関心度が高まり、防災・減災への取り組みは喫緊の課題となっています。特に本町は、南海トラフ巨大地震に備えて、ハード・ソフト両面で各種事業を展開しています。

このように近年、生活環境が大きく変化変貌する中、次代を見据えた着実な町政運営の必要性に鑑み、まちの将来像を「安心なまち・子どもが輝くまち・交流のまちいたの」の創造に向けて、今新たな一歩を踏み出します。

しかし、現状でのまちづくりの課題は多様化・複雑化しており、まちの将来像を実現させる諸施策の推進には、行政サービスの受け手、送り手という一方向ではなく、住民と行政がそれぞれの役割を發揮し、両者が一体となって双方向で課題を解決していくことが必要となっています。

私は、まちづくりへの住民参加や住民と行政が情報を共有化し、町民の皆様と行政との協働でのまちづくりを更に進めさせていただき、住民一人ひとりがまちに誇りと愛着を持ち、生き生きと暮らせるまちづくりに全力で取り組んで参ります。

この町勢要覧が、板野町をご理解いただく資料として広くご利用ご活用をお願い申し上げます。皆様のご支援・ご協力を賜り、更なる町勢発展にお力添えをいただければ幸いです。

平成27年2月
板野町長 玉井 孝治

安心な生活や
暮らしを守る

・安全で美しい

田園空間づくり

・みんなで支え合う

安心な暮らしの仕組みづくり

・人・もの・情報が集う

都市基盤づくり

・連携強化による

産業づくり

活力と交流を
生み出す

人が育ち、
みんな
まちを創る

・協働によるまちづくり

・学びと文化が香る

まちづくり

みんなので支え合う安心な

暮らしの仕組みづくり

町民の誰もが健康で安心して暮らせるため、さまざまな健康づくりの取り組みを行っています。また、病気の予防・早期発見・早期治療を図るため地域医療と連携しながら、ライフサイクルに応じた健診・健康相談事業の充実を図ります。



乳児健診の様子



ブックスタート事業



管理栄養士による栄養相談



いたの子どもフェスティバル

子どもたちが明るくのびのびと成長できるように、少子化対策や子育て支援対策を重要施策ととらえ、義務教育終了までの乳児医療の無料化、幼稚園から中学校までの給食費の半額補助など、子育て家庭の経済的支援の充実を図ります。

また、地域や関係機関との連携を深めながら、地域子育て支援センター等の機能充実を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをめざします。

子どもたちは 未来を担う地域の宝



おはなし会



絵本作家による絵本ライブ



板野町子どもを守る会主催のタグラグビーではグラウンドに子どもたちの歓声がひびきました



成人式



子ども議会



男性チャレンジ教室では料理や運動に取り組んでいます

ライフステージに 応じた健康づくり

ライフスタイルの変化にともない、生活習慣病は年々増加傾向にあり、自主的な健康づくりがいつそう大切になっていきます。住民が健康に関心を持ち、いきいきと健やかに暮らせるように、これまでの取り組みをさらに進め、様々な機会を通じて健康づくりへの取り組みを応援します。



保健師・栄養士と学ぼう



元気でいこよ運動教室



総合健診



老人クラブ会員による児童館での折り紙教室



高齢者学級



老人クラブ連合会体育大会



年齢や障がいの有無にかかわらず、住み慣れた住まいや地域の中ですべての人が安心して暮らせるように地域に根ざした福祉社会を実現することが求められています。

住民一人ひとりがお互いに支え合いながら、地域で生き活きと暮らしていくことができる共生社会の実現にむけて取り組みを進めていきます。



安全で美しい 田園空間づくり

災害に強い 安心安全の町づくり

防災対策の基本は、災害から町民の生命と財産を守るため正確な情報を迅速に伝達し、その発生を未然に防ぐことです。しかし万一災害が発生した場合には、被害を最小限に食い止め、適切な処置と速やかな復旧を図るため、各種の防災・減災施策に積極的に取り組んでいます。

また、現在、震災やその他災害に関して、予防・対策・復旧等についてとりまとめた板野町地域防災計画の見直しも進めています。

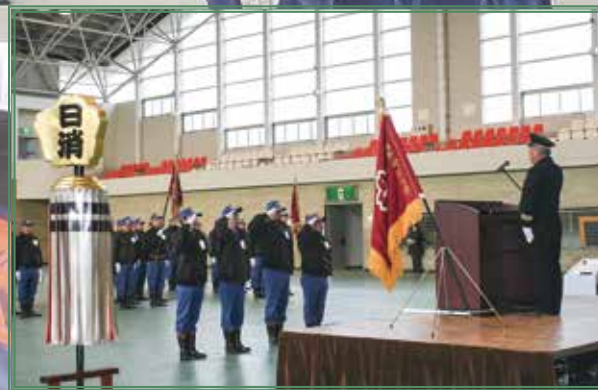


板野町防災訓練（平成 26 年度南地区）





備蓄倉庫



出初式

町ぐるみで安全を育む

誰もが、安心して暮らしていける防災対策の充実のためには、地区コミュニティの形成と共に自主防災組織の育成も推し進めていかなければなりません。

いつ起こるかかわからない様々な自然災害に対し、「自助・共助・公助」による、自分の身は自分で守るという自主防災意識の高揚と、住民相互の協力体制など災害時に効率かつ迅速的な対応ができる体制づくりをめざします。



コミュニティ消防センター



被災地へボランティアを派遣



国民保護訓練



町内の寺社での文化財防火訓練

連携強化による 産業づくり

板野町は、徳島県の北東部に位置し、南部に旧吉野川が東西に流れる恵まれた自然条件を活かした肥沃な農業地帯です。農業は、町の基幹産業であり、春先に欠かせない彩りのある洋にんじん・きめ細やかな肌合いのれんこん・名産として奈良漬けに形を変える白瓜などが特産品です。



れんこんの収穫



しろうりの収穫



収穫したれんこん出荷前の洗浄作業

豊かな農産物を活かして

板野町の基幹産業である農業の振興を図るため、担い手の育成支援、町内の特産物を活かした六次産業化事業の推進、交通アクセスの利便性などがもたらす地理的条件や広域的交流機会を活用し、産業振興を進めます。



▲ にんじんドレッシング

板野町産のにんじんを有効活用し、町産のにんじんのおいしさのPR、他の地域産のものとの差別化を図るため、地元企業の協力を得て、ドレッシングを開発しました。にんじんのしっかりとした甘みとうまみ、きれいなオレンジ色が特徴のドレッシングです。



▲ いたのすけ

板野町商工会青年部・板野町認定農業者連絡協議会のメンバーが、板野町を盛り上げようと、町の名産品である「漬物」を開発しました。苗植えから始まり、収穫、加工、製造まで全て自分たちの手でしています。

◀ いたの・キャロリーヌ (ハンドクリーム)

板野町まちづくり女性の会が発案し、専門企業の協力を得て、町産のにんじんエキス入りハンドクリームを作りました。

人気のヒアルロン酸やコエンザイムQ10を加え、保湿や潤い、使用感についても試行錯誤を重ね、完成した板野町のハンドクリームです。

六次産業化により 生み出された新商品たち

あさひインダストリアル・パーク ソフトパーク・いたの

徳島県の北東部に位置する

板野町は、香川県と境を接し、高松自動車道板野インターチェンジが設置され、更に徳島自動車道藍住インターチェンジへのアクセス道路も整備されています。

四季折々の美しい自然豊かな阿讃山脈の中にある「あさひインダストリアル・パーク」、「ソフトパーク・いたの」は、徳島市中心部にも近く、高松自動車道板野インターチェンジから約五分、徳島自動車道藍住インターチェンジから約十分の位置にあり、交通アクセスに恵まれた企業用地（工業団地）です。

■あすたむらんど徳島



■大塚製薬(株)

徳島板野工場



■NPO法人徳島 スポーツビレッジ・ 徳島ヴォルティス





■ テック情報(株)



■ 徳島県立
総合教育センター



■ ダイトー工業(株)



■ 日本コムシス(株)
徳島営業所



■ 板野町学校給食センター

板野町学校給食センターは、学校給食衛生管理基準に基づいた施設で、調理場はドライシステム化を導入しています。また、二次汚染作業区域・非汚染作業区域等に区分されており、衛生面では厳重な管理の徹底を図っています。

また、太陽光発電・蓄電設備等を導入し、災害時における町民への食料供給基地としても対応可能な施設となっています。



あせび温泉

やすらぎの郷

あせび温泉の源泉水は、大坂甚左原の地下二五〇mから自噴する温度二〇・七℃のアルカリ性の泉質で、入浴後、肌がつるつるし、なめらかなになる効能があるといわれています。

周辺には豊かな自然と、歴史遺産がたくさんあり、四季折々の借景を楽しみながら、リラックスして入浴できます。



あせびちゃんと弁慶くん

あさんウォーキング

フェスタ in いたの



自然の大切さ、健康のありがたさを伝えるために……。

板野町の山麓部を中心に、「環境と健康を考える」をテーマに毎年十一月に開催されます。

阿讃山脈の自然を体いっぱい感じながら歩くウォーキング大会、板野町の特産品を販売する特産市などのイベントが行われ、町内外から多くの方が訪れています。



まめっちゃ

人・もの・情報が集う 都市基盤づくり



西中富自歩道橋



交通指導員による交通安全教室



交通安全協会板野分会会員による朝の立哨



町民による排水路清掃

快適な
暮らしの基盤づくり

さまざまな交流の基盤づくりは、生活道路の整備をはじめ、高速道路やインターチェンジの活用等、道路網の整備を押し進めています。また自然を生かした環境整備や生活環境を整え、ごみの減量化、再資源の運動を行っています。

人と地域の 交流が 拡がるまち

板野町は、古代の官道「南海道」が通り、当時の地方役所「板野郡衙(ぐんが)」が設けられ、往時には都や地方から人・もの・情報が盛んに行き交う、交通の要衝の地でした。

高松自動車道板野インターチェンジが設置され、更に徳島自動車道藍住インターチェンジへのアクセス道路も整備された板野町は、関西経済圏からの四国の玄関口としての役割を担い、県北部の産業・文化・教育・観光の広域交流拠点として発展していきます。



徳島自動車道



JR 板野駅



高松自動車道 (板野インターチェンジ)



子どもふれあい交流大会



童謡とわらべ歌フェスティバル



ラジオ体操会



学びと文化が まちづくり

歴史文化の継承

文化財は、私たちの祖先の生活のあかしです。その一つひとつが歴史であり、遺産であり町の貴重な財産です。町の貴重な財産を次世代に受け継ぐため、文化財や伝統芸能、文化意識を高め継承していきます。



四国霊場第三番札所 金泉寺



四国霊場第四番札所 大日寺



四国霊場第五番札所 地藏寺



板野町史跡 郡頭



犬伏久助座像（藍染庵）

指定文化財



大坂峠展望台から見た風景



愛染院（赤澤信濃守廟所）



五百羅漢（地藏寺）



大わらじ新調作業



大坂口御番所跡 旧村瀬館



協働によるまちづくり

地域の歴史や風土、伝統芸能など悠久の記憶を通じて長年にわたり培われてきた人と人とのつながり、地域での町民相互の連帯感や、自治意識を高めるために様々な交流の場がつけられています。



議会



町民一人ひとりが町に愛着の
思いを高めていただくために、
町と人・地域が一体となって共
に学ぶ、人づくり、町づくりを
進めていきます。

行財政運営



案内係



役場庁舎



町の花（さくら）



町の木（あせび）



町章

板野町60年のあゆみ

昭和30年	2月11日合併・板野町誕生（板西町・栄村・松坂村が合併） 第1回板野町長選挙（扶川文雄氏当選） 大坂分校及び分園完成 養老院（現在養護老人ホーム）設置 南公民館完成 板西警察署改称板野警察署となる 町内三中学校を統合板野中学校とする 中央公民館完成 第2回町長選挙（扶川文雄氏当選） 有線放送農業協同組合設立 大寺公会堂完成 中学校普通教室及び特別教室完成 第3回町長選挙（佐藤源定氏当選） 川端・郡頭公会堂完成 中学校管理棟及び特別棟完成 南小学校屋内運動場完成 中学校屋内運動場完成 地籍調査実施（7ヶ年計画） 町制施行10周年記念式典挙行 東小学校校舎完成 第4回町長選挙（佐藤源定氏当選） 役場庁舎完成 板野町章決定 競艇事業指定を受ける 西公民館完成 広報誌「板野の素顔」創刊 町民プール完成 学校給食開始 南小学校校舎完成 南小学校校舎完成 西小学校校舎完成 東幼稚園舎完成 第5回町長選挙（佐藤源定氏当選） 西小学校プール完成 東小学校屋内運動場完成 東小学校グラウンドに夜間照明施設完成 国鉄鍛冶屋原線廃止	1955
昭和48年	「板野町史」発行 浄水施設完成 南小学校管理棟及び特別棟完成 岡上神社（岡ノ宮）「大クス」県指定天然記念物に指定 西部消防組合庁舎完成 総合保育園完成 東小学校管理棟及び特別棟完成 西小学校管理棟及び特別棟完成 町内小学校創立百周年記念式典挙行 町制施行20周年記念式典挙行 第6回町長選挙（佐藤源定氏当選） 西新田教育集会所完成 大坂分校屋内運動場完成 町民センター完成 南公会堂完成 東（野球用）西・南（フットボール用）小学校グラウンドに夜間照明施設完成 町民音頭レコード制作 西小学校校舎増築及び屋内運動場完成 川端教育集会所完成 東公会堂完成 第7回町長選挙（大伏文雄氏当選） 郡頭教育集会所完成 板野西部青少年補導センター設立 国土利用計画（板野町計画）策定 健康教室が県知事表彰受賞 クリーンセンター（し尿処理場）完成 勤労者体育センター完成 教職員住宅新設 第1回民間使節団がニュージールランド・クライストチャーチ市を訪問 第8回町長選挙（大伏文雄氏当選） ニュージールランド・クライストチャーチ市から第1回民間使節団来町 県下初の林野火災防衛訓練実施 黒谷川郡頭遺跡発掘（三世紀前後の集落遺跡） 第一次那東地区ほ場整備完成 国鉄高徳本線開通50周年記念式典挙行 町制施行30周年記念式典挙行 町基本構想策定	1975
昭和47年	1985	
昭和46年	昭和58年	
昭和45年	昭和57年	
昭和44年	昭和56年	
昭和43年	昭和55年	
昭和42年	昭和54年	
昭和41年	昭和53年	
昭和40年	昭和52年	
昭和39年	昭和51年	
昭和38年	昭和50年	
昭和37年	昭和49年	
昭和36年	昭和48年	
昭和35年	昭和47年	
昭和34年	昭和46年	
昭和33年	昭和45年	
昭和32年	昭和44年	
昭和31年	昭和43年	
昭和30年	昭和42年	
昭和29年	昭和41年	
昭和28年	昭和40年	
昭和27年	昭和39年	
昭和26年	昭和38年	
昭和25年	昭和37年	
昭和24年	昭和36年	
昭和23年	昭和35年	
昭和22年	昭和34年	
昭和21年	昭和33年	
昭和20年	昭和32年	
昭和19年	昭和31年	
昭和18年	昭和30年	
昭和17年	昭和29年	
昭和16年	昭和28年	
昭和15年	昭和27年	
昭和14年	昭和26年	
昭和13年	昭和25年	
昭和12年	昭和24年	
昭和11年	昭和23年	
昭和10年	昭和22年	
昭和9年	昭和21年	
昭和8年	昭和20年	
昭和7年	昭和19年	
昭和6年	昭和18年	
昭和5年	昭和17年	
昭和4年	昭和16年	
昭和3年	昭和15年	
昭和2年	昭和14年	
昭和1年	昭和13年	
昭和0年	昭和12年	

昭和62年	児童館・総合センター完成		
昭和63年	第9回町長選挙（犬伏文雄氏当選） 柔剣道場（中学校）完成		
平成元年	第10回町長選挙（犬伏正昭氏当選） 庁内OA化スタート 吉野川北岸用水事業完工 農業構造改善事業優良地区として大臣表彰 町民ふれあいプラザ完成		
平成2年	環境センター（ごみ焼却場）完成 ふるさと創生事業 （ふるさと巡回バス運行開始、WAKUWAKUウォーキングスタート）		
平成3年	田園パーク・町民スポーツガーデン完成		
平成4年	第11回町長選挙（犬伏正昭氏当選）		
平成5年	田園パーク・健康の館完成 健康づくり推進活動功労者団体として知事表彰 一般廃棄物最終処分場完成		
平成6年	東四国国体デモスポ（グラウンド・ゴルフ）開催 四国縦貫自動車道（藍住―脇間）供用開始 シルバー人材センター設置		
平成7年	第3次振興計画（町基本構想）策定 歴史文化公園・文化の館完成		
平成8年	町制施行40周年記念式典挙行 第12回町長選挙（犬伏正昭氏当選） 彩りの館完成		
平成9年	デイサービスセンター・在宅介護支援センター完成 指定ごみ袋による分別収集開始		
平成10年	あさんインタストリアル・パーク整備事業竣工		
平成11年	四国横断自動車道（鳴門―板野間）起工式 森の遊園地（歴史文化公園内）開設 健康相談総合窓口開設		
平成12年	第13回町長選挙（犬伏正昭氏当選） クリーンいたの21誕生		
平成13年	四国横断自動車道（板野―香川津田東間）供用開始 あすたむらんど徳島開園		
平成14年	資源ごみ等持込回収スタート あせび温泉やすらぎの郷オープン 板野町公共下水道事業着手		
平成15年	ねんりんピック徳島2003ウォークラリー交流大会開催		
		2005	
平成16年	大坂口御番所跡旧村瀬館開館 第14回町長選挙（犬伏正昭氏当選） 徳島県立総合教育センターオープン 町制施行50周年記念式典挙行	平成17年	徳島ヴォルティス日本プロサッカーJ2参戦 第4次振興計画（基本構想）策定 第15回町長選挙（中島勝氏当選） ブックスタート事業開始 防災無線テレフォンサービス開始 地域包括支援センター名称変更（旧地域型在宅介護支援センター） 徳島スポーツビレッジ完成 板野南小学校耐震化工事完了 板野町東児童館新設移転 災害対策用備蓄倉庫完成
平成18年	第22回国民文化祭「いたの童謡とわらべ歌の祭典」開催 板野東小学校・板野西小学校・板野中学校耐震化工事完了 板野町有線放送農業協同組合解散 第16回町長選挙（玉井孝治氏当選） 第1回あさん地球フェスタinいたの開催 消費生活相談所開設 乳幼児医療の対象者を中学校修了まで拡大 徳島東部定住自立圏形成協定締結	平成19年	幼稚園給食開始 幼稚園・小学校・中学校給食費半額補助開始 田園パーク開設20周年記念行事 NHK夏期巡回ラジオ体操会開催 板野駅無料駐輪場新設 板野町防災避難訓練実施 第27回国民文化祭・とくしま2012国文祭成果継承事業 （童謡とわらべ歌フェスティバル開催） 役場庁舎耐震改修工事完了 第17回町長選挙（玉井孝治氏当選） 徳島ヴォルティス 四国初J1昇格 東公会堂耐震改修工事完了 板野町学校給食センター着工 南公会堂耐震改修工事完了 西中富自歩道橋完成 板野町学校給食センター完成 町制施行60周年記念式典挙行
平成20年		平成21年	
平成21年		平成22年	
平成22年		平成23年	
平成23年		平成24年	
平成24年		平成25年	
平成25年		平成26年	
平成26年		平成27年	

板野町





発行日 ■平成 27 年 2 月

発行 ■徳島県板野町

〒779-0192 徳島県板野郡板野町吹田字町南 22 番地 2
TEL.088-672-5980 FAX.088-672-5553

ホームページ <http://www.town.itano.tokushima.jp/>

企画編集 ■板野町総務課

制作 ■多田印刷株式会社

